

1 開催概要

日 時 令和8年2月16日(月)14:00~15:00

場 所 敦賀市役所2階 消防講堂

出席者 委員7名 リモート顧問3名

2 議題

(1)中池見湿地木道改修について

○事務局より、木道改修について、部材の腐食、表面劣化等が複数箇所を確認され、令和6年度に行った測量設計に基づき、令和8年度から複数年に分けて、優先度の高いエリアから木道改修を予定していることを説明があった。

【主な質疑・意見】

・場所はどこから行うのか。多額の費用がかかるなら、木道全てを改修するのではなく、一部は自然のままでもよいのではないかと、素材は自然素材や景観に配慮しながらも耐久性があるものを用いて費用を下げてよいのではないかと。

(事務局)ビジターセンター周辺からと考えている。来園者に見てもらうための木道の改修は必要だが、優先度としては中池見湿地の保全活用に費用をかけたいので、過剰な費用は抑えて耐久性のある素材にする。改修エリアについても今後意見を伺っていきたい。

・ふるさと納税について、もともとは品目ごとに集めていたが、市全体に変わった。これを復活させる方法もある。また主体はあくまでも中池見の自然保護で木道がメインではないことは賛成で、来園者の少ない国道側まで回ってもらってこそ価値があるので、雨宿りのできる建物においてはどうか。また長期に渡る改修の計画については事務方で整理してもらいたい。

(事務局)ふるさと納税についてはかなり前のことだが需要と供給のミスマッチがあり、このような形になったが、やるべき修繕については必要な予算を求めていく、補助金についても取れるものは取りに行き、ふるさと納税に充てるものについても求めていく。

(2)後谷における自然復元工事完了報告及び今後の保全管理について

○事務局より、自然復元工事が完了し、施設の引渡しが行われた旨報告があった。

また分科会会長より、再生湿地設計の経緯と現状について説明があった。

現在は堰板により導水しているが、上下流の分断を緩和するため、土嚢等を活用した水位調整を検討している。ため池では既存湿地に生息する魚類の流入が確認されている。水田状湿地では耕作を計画しているが、地中の石礫等の影響により耕起が困難な状況がある。中

中央水路及び氾濫原湿地は越流により湿地機能を維持する設計であり、濁水期の水位変動を確認しながら運用する。

【主な質疑・意見】

・市民の理解を増やすきっかけになるよう関連する団体がしっかり関わっていきたい。また再生湿地は特殊なので、保全活用計画を見直していかなければいけない。

（事務局）分科会の協力を得て計画の見直しを入れていく。進捗を協議会に報告し協議いただく。

（分科会）湿地が創出されて植生遷移が目まぐるしく変わるため難しいが、現状として初期段階の保全方針を定めるような方向で進めていけると考えている。また後谷での水田耕作や観察会について活動していく。

(3)その他

【主な質疑・意見】

・木道以外の古民家などその他の施設の改修の必要性はどうか。

（事務局）まずは優先度として木道を改修する。こちらを複数年で進めていく間に次は古民家のあり方について意見を頂きたい。

・スロープカーの復活はあるのか。ないなら撤去してほしい。古民家の利用については各地で体験教室をする中で、特に外国人にインパクトがある。現状を知りたい。

（事務局）復活は難しい。撤去も含めてなるべく早めに判断するよう提言する。古民家の利用はぜひご利用いただきたい。周知についても多言語で行っている。

閉会